

令和8年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河中央中学校長

令和8年4月23日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学、英語の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率（英語はIRTスコア）の比較】

教科	全国平均	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	63.9%	○				
数学	57.0%	○				
英語	499点	○				

※中学校英語はCBT（コンピューターテスト）のため、「IRTスコア」になります。

「IRTスコア」とは国際的な学力調査で採用されているテスト理論で、この理論を使うと異なる問題から構成される試験の結果を同じものさし（尺度）で比較できます。なお、標準点は500点となっております。

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	63.0%	○				
情報の扱い方に関する事項	70.4%	○				
話すこと・聞くこと	63.9%		○			
書くこと	67.4%		○			
読むこと	59.7%	○				

【考 察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では、単語の類別について理解する設問で高い正答率でしたが、語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉えることが課題となりました。今後は、文章の中で語句がどのように使われているかを考える活動を充実させ、語句の意味を文脈に応じて捉える力を育成していきます。
- 「話すこと・聞くこと」の領域では、目的や場面に応じて材料を整理し、伝え合う内容を検討する設問で高い正答率でしたが、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることが課題となりました。今後は、相手の話を聞いて疑問点を質問したり、内容を確認めたりする活動を充実させていきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	67.8%	○				
図 形	48.7%	○				
関 数	54.8%	○				
データの活用	53.5%	○				

【考 察】

- 「データの活用」の領域では、累積度数の意味を理解する設問で高い正答率でしたが、箱ひげ図と四分位数の対応について理解することが課題となりました。今後は、実際のデータを用いて表やグラフの特徴を比較する活動を通して、データを適切に読み取る力を育成していきます。
- 「図形」の領域では、事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てる設問で高い正答率でしたが、筋道を立てて考え、三角形の合同を基に証明することが課題となりました。今後は、既習の図形の性質を根拠として、筋道を立てて説明する活動を充実させ、証明する力を育成していきます。

【英語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

※英語については、公表されている問題が全体の５割程度であり、国語や数学のように領域別の正答率が提供されていないことから、考察のみ記載いたします。

【考 察】

- 「聞くこと」の領域では、日常的な話題について必要な情報を聞き取る設問で高い正答率でしたが、社会的な話題について必要な情報を聞き取ることが課題となりました。今後は、目的・場面・状況を意識したリスニング活動を継続するとともに、社会的な話題に関する語彙の習得を図っていきます。
- 「書くこと」の領域では、自分の興味・関心に関する話題について文章を書く設問で高い正答率でしたが、様々な話題について情報を整理し、自分の考えを英語で表現することが課題となりました。今後は、多様な話題について自分の考えを英語で伝える言語活動を充実させ、表現力の向上を図っていきます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河中央中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
中 3	全 国	27.4	50.8	18.6	2.7
	中央中	31.0	52.7	15.5	0.8

(単位 %)

【考 察】

- 全国と比較しても良好な結果となりました。自分に合った学習方法を考え、工夫しながら学習に取り組む姿勢が身に付いてきていることがうかがえます。
- 今後も、生徒が自分に合った学習方法を考え、主体的に学習に取り組めるよう支援していきます。また、互いの学び方や工夫したことを生徒同士で伝え合い、他者の学び方から新たな方法に気付いたり、自分の学び方を広げたりできるよう、授業の中で交流する場面を意図的に設定していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中 3	全 国	8.9	21.2	31.5	19.5	11.5	6.9
	中央中	3.9	15.5	48.1	24.0	4.7	3.9

(単位 %)

【考 察】

- 平日の家庭学習について、「1時間以上」取り組んでいる生徒は、全国と比較しても良好な結果となりました。一定の時間を確保し、継続して家庭学習に取り組む習慣が身に付いていることがうかがえます。
- 今後は、学習時間を確保することに加え、「何を、どのように学ぶか」を考え、自分に合った学習方法を工夫しながら、学習の質を高められるよう支援していきます。また、授業で学んだことを家庭学習につなげたり、効果的な学習方法を生徒同士で共有したりする機会を設け、主体的に学ぶ力を育てていきます。

- 3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	29.3	49.7	17.2	3.2
	中央中	32.6	44.2	19.4	3.9

(単位 %)

【考 察】

- 授業の中で振り返りの時間を設定していることで、学習内容を振り返り、自分の理解や課題を確認する習慣の定着が図られていると考えられます。
- 今後も、振り返りの時間を確実に設定するとともに、振り返ったことを次の学習に生かす場面を充実させるなど、授業改善を進めていきます。また、生徒同士が学習を振り返り、分かったことや疑問に思ったことを伝え合う活動を取り入れ、主体的に学びを深める力を育てていきます。

- 4 普段、(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等(以下、「スマートフォン等」)でSNSや動画視聴などをしますか(スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く)

		4時間 以上	3～4 時間	2～3 時間	1～2 時間	30分～ 1時間	30分よ り少ない	もってい ない
中 3	全 国	28.8	20.8	25.3	16.9	5.1	1.9	1.0
	中央中	22.5	17.8	35.7	18.6	3.9	0.0	1.6

(単位 %)

【考 察】

- 全国と比較して利用時間が少ない傾向が見られますが、SNSや動画視聴などに使う時間が長くなりすぎないように、使う時間や使い方を考えていく必要があります。
- 今後も、情報モラル教育や生活習慣の指導を通して、スマートフォン等の便利さや楽しさだけでなく、長時間利用が生活に及ぼす影響について考える機会を設けていきます。また、生徒自身が利用時間や目的を振り返り、使う時間や使い方を自分で考えて決める力を身に付けられるよう支援していきます。